

講師が実際に体験した事案をもとに解説！

# ストーリーと実例から学ぶクロスボーダーPMIの実状

～ 本質的且つ現実的な PMI プラクティスを考察 ～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2020年 1月15日(水) 14:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京: 麹町)

【開催にあたって】

日本企業による海外企業の買収が盛んに行われるようになった昨今、買収後のPMIの重要性が増しています。買収後の経営が現地任せになってしまつては1+1=2の状態から抜け出せず、更にはガバナンスが整う前に現地で大問題が発覚するような事もあります。経営企画部のM&A精鋭部隊は常に忙しく、次の案件と向き合わなくてはならない事が多いため買収後のPMIまで十分な人員を割く事ができない事も多く、効果的且つ現実的なPMIの遂行は重要課題です。本講座では弊社が実際に経験した欧米や中東での事案をストーリー化し、最も本質的且つ現実的なPMIプラクティスを考察していきます。

講師 モーゲンスターン国際会計事務所(シカゴ・アムステルダム)代表 村田幸伸氏

講師紹介

欧米地域で事業を行う日本企業に対し現地サイドでハンズオンのビジネスサポートを提供。クロスボーダーM&Aや買収後のPMI、また海外グループ企業の取締役としてガバナンス強化を支援。M&AやPMIではアメリカ、イギリス、カナダ、オランダ、ドイツでの実績を有し、現在アメリカ、イギリス、オランダ企業の実務を務める。大手ゼネコン在職(7年間)に米国公認会計士試験に合格。渡米しロサンゼルスでの会計事務所において実務経験を積み2002年に同地で独立し会計業務を開始。2014年より海外グループガバナンス業務開始。2015年よりクロスボーダーM&A及びPMI業務開始。2016年に拠点をシカゴに移転。2019年に欧州事務所(アムステルダム)を開設。カリフォルニア州公認会計士協会正会員、米国コーポレートガバナンス協会正会員

【申込方法】 当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書でFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191912-0303(※)		ストーリーと実例から学ぶクロスボーダーPMIの実状	
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail: [tamiaki@bri.or.jp](mailto:tamiaki@bri.or.jp)

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F 【DM変更連絡】03-5215-3512

【プログラム】

- 「日本に従うよ」という英国ジェントルマン社長の驚くべき計画
  - デューデリ、クローージング、PMIと全て協力的でスムーズに進行  
参考) デューデリで軽視しがちな最も大事なポイント
  - 有能ながら本社とやり合う気迫が感じられない  
参考) 相手方経営陣が有能であればあるほどの留意点
  - 吹き出した不満と同時に顔になった仰天計画  
参考) 見落としていた大問題とは?  
日本式の経営スタイルが欧米企業と不一致な価値観
  - 事の顛末と問題の根源  
参考) 後々彼らから聞いたホンネとは?  
経営管理統合前に突き詰めることは?
- 10年以上前に買収した米国企業が未だに・・・
  - ガバナンス強化目的で取締役就任  
参考) 日本企業の海外グループ会社に対するガバナンスの動向
  - 徐々に漂ってくる不穏な空気  
参考) 日本人駐在員の苦勞と限界
  - 紐解けば解くほど連鎖する購買不正  
参考) 購買不正の種類と本社に与える影響
  - 事の顛末と問題の根源  
参考) 形式的なPMIの無力さ  
時間の経過と共に肥大化&高度化する不正
- ドバイに消えたマネー
  - FZE(フリーゾーン法人)を日本企業から譲受  
参考) 欧米グローバル企業がドバイを使う理由  
フリーゾーン(経済特区)法人とは?
  - 礼儀正しいインド人社長がまさかの横領  
参考) 任せたことに関してどのレベルまで監視していくか?
  - インソルベント状態の相手から絞り出す損害金回収  
参考) キーパーソンの個人的財務状況を把握する方法
  - 事の顛末と問題の根源  
参考) 現地代表者の選任時期と選任前の選択肢
- 反抗期のアメリカン
  - トランプばりの絶好調ゴーイングマイウェイ経営陣  
参考) 好調なのに経営陣がなぜ保守的になるのかという謎の紐解き
  - 日本からのリクエストに全くNO!  
参考) 組織関係が機能しない理由
  - 嫌われ者取締役の武器はBI(ビジネス・インテリジェンス)  
参考) BIで丸裸にするとうどう反応するか?
  - 事の顛末と問題の根源  
参考) 業績好調時に陥りがちな雑な経営への修正点  
好調時こそ“本社のリード”が重要な理由
- まとめ
  - 全てのケースに共通する醜悪の根源とは?
  - “守る”ための“攻め”の海外ガバナンス
  - 海外ガバナンスをリードすべき理由  
参考) 具体的なスキームとリードすべき役割を例示

※プログラムは当日一部変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで2種類のセミナーをご案内しております。